学校番号	1010

令和２年度　情報科

教科	情報	科目	情報産業と社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	情報産業と社会　（実教出版）						
副教材等	ポイントでマスター　基礎から始める　情報リテラシー2013　（実教出版）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワークについて学び、日常使っている機械（コンピュータ）に対して、理解を深め、良い使い方は何かを考えましょう。
・専門教科「情報」の基礎基本となる知識や考え方の習得を目指しましょう。

２　学習の到達目標

１．情報化と情報産業の発展が、社会にどのような影響を与えているかを理解する。
２．情報に関する基礎知識を習得する。
３．情報活用能力を身に付け、社会の発展に寄与する能力と態度を身に付ける。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	情報産業に関する諸課題について関心をもち、その改善･向上を目指して主体的に取り組もうとするとともに､実践的な態度を身に付けている。	情報産業に関する諸課題の解決を目指して思考を深め、基礎的･基本的な知識と技術を基に､情報産業に携わる者として適切に判断し､表現する創造的な能力を身に付けている。	情報産業に関する基礎的･基本的な技術を身に付け、情報の各分野に関する諸活動を合理的に計画し、その技術を適切に活用している。	情報産業に関する基礎的･基本的な知識を身に付け、現代社会における情報及び情報産業の意義や役割を理解している。
評価方法	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート 確認テスト 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テストの結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
第1クール・第2クール	情報化と社会	○社会の情報化 ○情報産業の進展と役割	○ ○	○	 ○	○	a:情報社会の未来について興味、関心をもって学習したか。 b:問題解決の身近な例をとりあげ、どのように問題解決を図るか、そのプロセスを考えることができたか。 c:情報産業に携わる人々がどのような技術や知識をもっているのか理解できたか。 d:情報とデータ、情報処理の各用語の理解ができたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 小テスト
第3クール・第4クール	情報産業と情報モラル	○情報技術者の義務と責任 ○情報モラルと情報セキュリティ ○情報産業と法規	○ ○	○	 ○ ○	 ○ ○	a:情報社会の光と影について興味や関心をもつことができたか。 b:情報技術者の義務と責任にはどのような事項があるか考えることができたか。 c:情報セキュリティ対策の技術にはどのようなものがあるかハードウェア面、ソフトウェア面で検討し、それらの技術がどのような技術であるか説明できたか。 d:知的財産権の種類とその保護内容を理解できたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価
第5クール	情報産業と情報技術	○情報技術の基礎 ○情報技術の活用	○ ○	 ○	 ○	○ ○	a:コンピュータネットワークや情報通信システムの仕組み、サービスについて興味をもって学習したか。 b:表計算ソフトをどのように活用すれば情報の処理や分析ができるか理解できたか。 c:作成したプレゼンテーションの発信ができたか。 d:情報の分類や収集方法を理解できたか。	学習状況の観察 ワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。